



# 下呂市 GERU CITY 議会だより assembly

平成27年9月1日  
第45号



## 目指せ 世界へ!

世界陸上に向け飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアで合宿する英国代表選手やコーチから、陸上教室を受ける下呂市の小中学生(8月2日 御嶽パノラマグラウンド)

## CONTENTS

- 新体制で4カ月が経過 (P2~P5)
- 6月定例会の報告 (P6~P8)
- 一般質問 10人が市政を問う (P9~P13)
- 9月定例会日程、編集後記 (P14)

## 新体制で4カ月が経過

平成27年5月11日の第2回臨時会で、議長、副議長、各委員会が新たな体制でスタートし、約4カ月が経過しました。それぞれの主な活動などをお知らせします。

このたび役員改選におきまして、議長に就任させていただきました。一段と身の引きしまる思いです。新庁舎整備が白紙になった今、喫緊の課題として、耐震補強も含め、両庁舎・振興事務所のあり方・旧下呂温泉病院跡地の活用について議員全員参加の特別委員会を立ち上げました。スピード感を持って、方向性を示していかなければならない大事な年です。現在執行部より庁舎・振興事務所の今後のあり方については、今まで通り「分庁方式」での考え方が示されており、耐震化も含め検討します。振興事務所についても、地元の方々の意見も伺いながら公の施設の見直しも含め検討中です。「市民と議会との懇談会」だけでなく、いろいろな場所で皆さんの貴重な意見も頂き、開かれた議会としての一翼が担えればと考えています。市民の皆様が、安心して暮せるまち、住んでみたいまちづくりの実現に向け、議会、執行部ともおおいに議論を重ね取り組んでいきます。市民の皆様方の一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

議長  
中島博隆



(仮称)和良金山トンネル貫通式(7月10日)で貫通発破をする中島博隆議長

このたび副議長に就任させていただくことになりました。市民の声が反映される議会を第一に、少子化、人口減少など問題点を見極め、市にとって何が重要なのか優先順位をしっかりと決め、5年10年先を見据えた市民のためのまちづくりを進めていく必要があると思います。下呂市では国の地方創世の推進により「まち・ひと・しごと 創生」に伴う下呂市総合戦略が策定される予定です。下呂市第2次総合計画では、向こう10年間の下呂市のあるべき姿を捉え「人口減少」「行財政改革」「地域づくり」3つの重点プロジェクトを強く推進するとしています。市内では住民の危機感の中、自分達の地域は自分達で変えていくんだという動きが活発になっています。行政と議会とで市民の皆様の活動を最大限支援していきたいと思っています。市民の皆様が、安心・安全に暮せるよう、元気な下呂市づくりを目指したいと思います。皆様の一層のご協力、ご支援をお願いしまして挨拶とさせていただきます。

副議長  
各務吉則



下呂市青少年市民会議(6月28日)で挨拶をする各務吉則副議長

# 総務教育民生常任委員会

定数 8名 (1名欠員)	
委員長	一木良一
副委員長	田中副武
委員	今井政良
委員	今井美好
委員	中島博隆
委員	服部秀洋
委員	中島新吾

## 活動方針

地域にとつて、少子化・人口減少問題は、その存続に関わるほどの大きな社会問題となつています。早急に効果のある対策が必要です。医療・福祉・教育・子育てなどのソフト面から、移住定住促進、街づくりなど地域の形態を構成するハード面まで、あらゆる政策を総合的に連携させ、進めていかねばならない事案です。先進地の成功事例などの調査を通じて、下呂市に合った最も効果的な方法を研究し確立してまいります。

## 主な活動計画

- ① 少子化対策に関わる調査研究 (子育て支援、出生率、小中学校児童生徒数の減少)
- ② 移住定住促進に対する調査研究
- ③ 再生可能エネルギーについて調査研究
- ④ 地域包括支援における認知症対策についての調査研究



総務教育民生常任委員会(6月22日)

# 産業経済常任委員会

定数 8名	
委員長	今井政嘉
副委員長	吾郷孝枝
委員	各務吉則
委員	山川博己
委員	伊藤厳悟
委員	中島達也
委員	中野憲太郎
委員	二村勝己

## 活動方針

地域の活力である産業振興策を研究し、下呂市の持続的な発展の為に産業経済の強化を目指し活動を行います。今年度は、各業界団体と委員会との意見交換を深め、官民一体となった政策立案を行えるようチャレンジしていきます。また、1次産業×2次産業×3次産業の6次産業と言われている取り組みを強化し、更には恵まれた自然環境を最大限に活かした産業の創造に主眼をおき、先進地視察などを行い、今後の下呂市づくりのため研鑽を積んでまいります。下呂市には新規就農の農家も増えて

## 主な活動計画

- います。人口減少や移住者対策としての産業経済の振興にも取り組んでまいります。
- ① 岐阜県農林事務所・土木事務所との意見交換会
  - ② 各業界団体との意見交換会
  - ③ 災害復旧現場視察
  - ④ 先進地視察



下呂市観光協会連絡協議会・下呂市商工会連絡協議会との交換会(7月16日)

# GERO CITY assembly

## 監査委員

議員選出  
今井 美好

## 議会運営委員会

定数 7名

委員長	中野 憲太郎
副委員長	中島 新吾
委員	今井 政嘉
	伊藤 厳悟
	一木 良一
	服部 秀洋
	中島 達也

## 予算特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長	山川 博己
副委員長	今井 政良
委員	議長を除く全員

## 決算特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長	服部 秀洋
副委員長	田中 副武
委員	議長を除く全員

## 飛騨農業 共済議員

議員名	中島 博隆
	伊藤 厳悟



## 議会改革特別委員会

定数 15名  
(1名欠員)

委員長	中島 達也
副委員長	服部 秀洋
委員	議長を除く全員

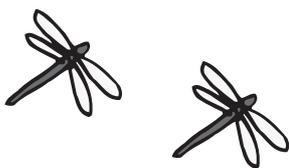
### 活動方針

当委員会は5年前「市民の負託に  
 応えられる議会活動の実現を図る」  
 ことを目的に設置されました。  
 その活動の一つに「市民と議会との  
 懇談会」がありますが、昨年は「  
 庁舎整備」「若者が市政と議会に  
 望むこと」にテーマを絞って開  
 催し、多くの貴重なご意見をいた  
 だきました。また議会改革の先進  
 地で研修を行い、議会基本条例や  
 IT化についても検討を始めよう  
 としております。また来年の議会  
 議員選挙を前に、議員定数や議員  
 報酬の検討は避けられないことか  
 ら、今年度より当委員会の定数を  
 5名から議長を除く全員とし、重  
 要課題に全員で取り組んでまいり  
 ます。さらには、よりよい「市民  
 と議会との懇談会」開催にむけて  
 小委員会を設置し、形骸化しない  
 ように進めてまいります。当委員  
 会は他の委員会と違い執行部の



市民と議会との懇談会(平成26年9月)

出席はありません。将来の政策決  
 定のストーリーに不可欠な議員間  
 討議により進めてまいります。



# 庁舎・振興事務所整備、 旧下呂温泉病院跡地活用、 検討特別委員会

定数	15名 (1名欠員)
委員長	伊藤 厳悟
副委員長	今井 政良
委員	議長を除く全員

## 活動方針

庁舎の一本化を図る「下呂市役所の位置を定める条例」が白紙となり、執行部より今後の庁舎整備方針の説明がされました。現行の分庁方式を維持し①下呂庁舎と星雲会館の耐震化②萩原庁舎と星雲会館の機能統合③農林部と建設部を下呂総合庁舎に移転④将来の庁舎整備に備えて基金の積み立てを行う。

振興事務所については①小坂振興事務所を取り壊し同地に建築②馬瀬振興事務所は他の公共施設に移転。また、旧下呂温泉病院跡地利用についての検討も進めるとの方針が提示されました。当委員会では、この整備方針と併せて旧下呂温泉病院跡地利用についての検



建築から49年経つ下呂市役所下呂庁舎

討を進めていきます。昨年9月に開催した「市民と議会との懇談会」で市民の皆様からいただいた意見や、各種団体からの意見を参考にし、執行部との議論を重ね、皆様の期待に応えられるよう庁舎・振興事務所整備、旧下呂温泉病院跡地の有効活用に取り組んでまいります。

# 濃飛横断道・リニア特別委員会

定数	5名
委員長	二村 勝己
副委員長	田中 副武
委員	今井 美好 伊藤 厳悟 中島 達也

## 活動方針

濃飛横断自動車道は、郡上市八幡町から中津川市間約80km、その内郡上市八幡町から下呂市保井戸間は約25kmであり、平成24年7月には金山下呂区間5.1km(ささゆりトンネルを含む)が暫定供用されました。

リニア中央新幹線については、中間駅として中津川市美乃坂本駅が決定し、2027年の開業に向けて本格的に事業着手されます。また、今年3月には北陸新幹線も開通しました。濃飛横断自動車道については、和良・金山間のトンネル工事が順調に進み、7月10日には貫通式が行われ、平成28年3月に下呂和良間が供用開始予定です。その後の計画については不透明なところもあり、当委員会では、



濃飛横断自動車道(仮称)和良金山トンネル貫通式(7月10日)貫通点に樽神輿が入場

中津川市、郡上市両議会と連携強化を図りながら関係機関に働きかけ、早期完成を目指すため活動してまいります。



## 6月定例会の報告

今定例会から会期を大幅に延長し、6月2日から6月26日までとし、初日の議案の提案説明を受けて一般質問、議案研究・審査、最終日の採決という議会日程となりました。一般質問には10人の議員が登壇し、それぞれに市政を質しました。

最終日には意見書が議員提案されましたが、賛成が少数であったため不採択とし、閉会しました。

### 上程議案と審議結果

#### ◎全会一致で適任・同意・可決された議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
人権擁護委員候補者の推薦について 上野久美子さんを人権擁護委員候補者として推薦	適 任 (全会一致)
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 安部嘉人さんを財産区管理委員として選任	同 意 (全会一致)
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 向川原盛吉さんを財産区管理委員として選任	
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 齋藤正巳さんを財産区管理委員として選任	
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 中川伸一郎さんを財産区管理委員として選任	
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 齋藤厚夫さんを財産区管理委員として選任	
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 二村耕一さんを財産区管理委員として選任	
下呂財産区管理会財産区管理委員の選任について 今井強さんを財産区管理委員として選任	
下呂市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について 法律改正により、共済年金制度が厚生年金に統一されることに伴う条例改正	
下呂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について 法律が公布され、平成27年10月に個人番号が通知されるにあたり、個人情報について従来よりも更に厳格な保護措置を講じるための条例改正	
下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 平成27年度国民健康保険税の税率及び税額を改めるための条例改正	
下呂市下呂温泉乗政キャンプ場設置条例を廃止する条例について 下呂温泉乗政キャンプ場の運営終了に伴う条例廃止	

前頁につづき 全会一致で可決された議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
平成 27 年度下呂市一般会計補正予算（第 1 号）	可 決 (全会一致)
平成 27 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	
平成 27 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市学校給食費特別会計補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市水道事業会計補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第 1 号）	
平成 27 年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第 1 号）	
4 月定期異動に伴う職員給与費・共済費・退職手当組合負担金の補正 他	
財産の取得について 馬瀬方面隊第 1 分団第 1 部に配備する消防ポンプ自動車購入	
平成 27 年度下呂市一般会計補正予算（第 2 号） 地域再生計画策定事業による補正	

◎賛否が分かれた議案 【議員提出議案】

○…賛成 ×…反対

議 案 名	議 員 名												審 議 結 果			
	田 中 副 武	今 井 政 良	今 井 美 好	今 井 政 嘉	各 務 吉 則	山 川 博 己	中 島 博 隆	伊 藤 嚴 悟	一 木 良 一	服 部 秀 洋	吾 郷 孝 枝	中 島 新 吾		中 島 達 也	中 野 憲 太 郎	二 村 勝 己
「戦争法」制定に反対する意見書について 議案名の意見書を提出することについて	×	×	×	×	×	×	議 長	×	×	×	○	欠 席	×	×	×	否 決 (賛成少数)

◎報告案件

議 案 名
平成 26 年度下呂市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成 26 年度下呂市簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成 26 年度下呂市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
平成 26 年度下呂市水道事業会計予算繰越計算書の報告について 各会計予算の繰越明許費の報告



### 付託された4議案全てを 可決すべきものに

6月22日、午前9時30分より、当委員会に付託された4議案について審査し、全てを可決すべきものと決しました。主な審査内容は次の通りです。

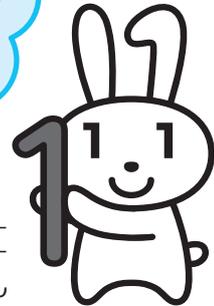
「下呂市個人情報保護条例の一部を改正する条例について」の審査では、委員から「市が保有する情報は全て保有特定個人情報と言うのか」との質問に「その通りです」と答弁がありました。またマイナンバー制度に関し「12桁の番号で自分自身に関する情報は情報が収集できるのか」との質問に「マイポータルで自分の情報をいつでもとやりとりしたのか確認できます」との答弁がありました。

「下呂市下呂温泉乗政キャンプ場設置条例を廃止する条例について」の審査では、「建物の撤去と跡地はどうなるのか」との質問に「有償で国有地を借用しているため、建物、キャンプサイトを撤去後、更地にして返還します」と答弁がありました。

## マイナンバーとは？

平成27年10月から、日本国内の全住民に通知される一人ひとり異なる12桁の番号をマイナンバーといいます。また法人には1法人1つの法人番号(13桁)が指定されます。マイナンバーは各機関が管理する個人情報が、同じ人の情報であることを正確かつスムーズに確認するための基盤になります。さらに国や地方公共団体で分散管理する情報の連携がスムーズになり、様々なメリットをもたらします。

平成27年10月から  
マイナンバーを  
一人ひとりに  
お届けします！



マイナンバー  
キャラクター  
マイナちゃん

6月24日委員会を開催し、付託された11議案について審査した結果、全て全会一致で可決すべきものと決しました。補正予算の主なものについて報告します。

### 一般会計

補正額 △1,796万円  
補正後 2,065,796万円

### 一般会計補正の主なもの

- ◎ 4月定期異動に伴う職員給与費等の補正 △3,332万円
- ◎ 地場産農産物を活用した次世代こんにゃくの製造販売事業への補助 5,000万円
- ◎ 地域おこし協力隊事業(小坂地域1名増員、下呂地域1名増員) 597万円
- ◎ 山之口キャンプ場炊飯棟整備 968万円
- ◎ コミュニティ助成事業による除雪機購入助成(久野川地区)、防災機器購入助成(馬瀬地区) 320万円

### 7特別会計

補正額 △1,557万円  
補正後 1,263,115万円

### 特別会計補正の主なもの

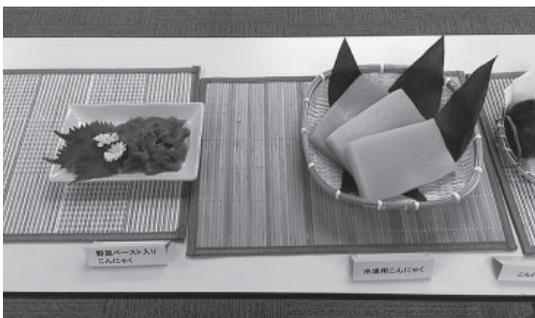
- ◎ 4月定期異動に伴う職員給与費等の補正 △1,075万円
- ◎ 簡易水道事業特別会計  
宮田地内国道41号水道管敷設替工事 414万円

### 3企業会計

補正額 △3,897万円  
補正後 226,857万円

### 企業会計補正の主なもの

- ◎ 4月定期異動に伴う職員給与費等の補正 △3,508万円



次世代こんにゃくの製造販売事業  
野菜ペースト入りこんにゃく(左)と  
解凍しても食感を損なわない冷凍用こんにゃく(右)

# 一般質問 10人が市政を問う



4番  
今井政嘉議員

150万人観光客誘致について  
①ゴールデンウィーク期間中の市内観光客入込状況について

◆観光商工部長

GW中の入込客数は、宿泊も含め良かったと聞いています。臨時観光案内所を設け、街歩きを誘発する取り組みとして、スタンプラリーやアンケートを行いました。地道な活動を誘客宣伝につなげてきたことが大切と考えています。

②外国人観光客が増加している中、市内各地WiFi環境等整備は進んでいるのか。

◆観光商工部長

国の地方創生の事業を活用して、設置に対する補助金を計上しており、旅館組合や商工会など関係者と協議して進めます。

③長時間滞在型の観光戦略について

◆観光商工部長

街歩きを誘発するような街づくりについては、下呂温泉観光協会において、観光のプラットフォームを整備し、ハード・ソフト両面から、市全体の活性化を図る内容の報告書をいただいております。

た方向性を基に事業化を進めていきます。

④地域のイベントをより効果的に告知し、元気な下呂市づくりを

◆観光商工部長

市のホームページはリニューアルされ、従来よりも、タイムリーに情報発信ができるようになりました。引き続き運用面で、満足いただけるものへとレベルアップを図ります。

森と清流を次世代へつなげる為に

①今年度は、雪により多くの箇所で行き止めとなった。緊急的に撤去されているが、市内山林の状況調査を行っているのか。その対応は進められているのか。

◆農林部長

被害状況は、道路被害、山林被害など64カ所と認識しています。

51カ所は地元の方々と職員で除去、13カ所は県の事業や業務委託などで対応する予定です。

②清流を活かしたまちづくりについて、今後どのように取り組まれるのか。

◆観光商工部長

市民憲章には「森と清流と温泉を宝とし次の世代へつなげよう」とあります。旅行者の方に満足いただけるような観光資源となるよう、更に磨きをかけていきます。



9番  
一木良一議員

小坂町大島線・大島1号線・大島谷橋梁整備工事の早期着手を計画の進捗状況について

◆建設部長

平成28年度に大島第2踏切の拡幅工事を行う予定です。大島谷の橋梁新設工事については、踏切拡幅工事が完了した後に、検討します。

庁舎統合整備案否決を受けて

検証と総括

◆市長

合併時の「煌」に基づいて新庁舎整備一本化の公約を掲げました。新庁舎整備検討委員会より報告書をいただいで、12月議会でも旧下呂温泉病院の跡地で庁舎一本化の方向性を示しました。1月に市内15カ所でも市民説明会を行ない、3月定例会に条例改正案を出しましたが否決されました。手順を踏んで説明してきたつもりでしたが、市民の皆さん、議会の皆さんに充分な理解が得られませんでした。私の説明不足であったと思います。しかし課題は残っています。

一本化はできなくても庁舎・振興事務所の耐震性がない、老朽化しているという課題があります。将来世代の負担を大きくしないためにも、合併特別債を使っていかなければなりません。今までの経緯や反省を踏まえ、庁舎・振興事務所を整備を議論しながら進めていかなければなりません。

実効性ある移住・定住促進策、空き家対策について

◆経営管理部長

関係機関と連携し、東京・大阪・名古屋で開催した就業就業相談会、移住相談会等の結果、本年度以降に13名が下呂市で新規に就業されます。

移住定住促進事業として、地方へ新しい流れを作るU・I・Jターンの方々を対象に、家賃や住宅購入費に助成をする制度を4月から始めております。これらの支援制度を利用していただき、就業も含めて多くの方々に下呂市へ移住していただくように考えています。





5 番  
各務吉則議員

## 第二次総合計画における27年度の まちづくりについて

①振興事務所のあり方について、今後施設と組織機能はどの様に考えられているのか。

### ◆総務部長

市内5箇所の振興事務所は存続し、総合的な窓口業務と地域づくりの拠点という大きな2つの業務を担います。萩原振興事務所は、星雲会館との機能統合に向け調査を行っています。馬瀬振興事務所は他の既存施設の活用を検討しています。下呂振興事務所は下呂庁舎と市民会館とで分散しているもので、今後のあり方を検証しています。金山振興事務所は既存の建物をもそのまま活用します。小坂振興事務所は、現状の場所でコンパクトな振興事務所の建て替えを検討しています。

御嶽山における登山とスポーツ・観光について  
①濁河地区までの県道の改良の進捗状況と対策は

### ◆建設部長

今年度県道 落合飛騨小坂停車場線は、県道 御岳山朝日線との交差点改良に着手されるほか、側溝の整備や防護柵の設置工事を、県道 御岳山朝日線は、約300mの改良工事が実施されます。

②濁河地区における宿泊施設、空き家施設などの対策は

### ◆小坂振興事務所長

濁河温泉地区には現在15軒の建物が建っており、その内宿泊施設が5軒、その他の施設が3軒空家となっています。所有者がわかっている建物については、適正管理をお願いしています。

④パノラマグラウンドと高山市におけるエリアの連携について

### ◆経営管理部長

高山市、岐阜県などで組織する飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア推進協議会を中心に、各種関連事業の取り組みを進めています。今年8月北京で開催される世界陸上では、イギリス・アメリカチームの事前合宿も内定し、その準備を進めています。

⑤公衆無線LAN環境の整備について

### ◆経営管理部長

エリアのインターネット環境改善に向けて、通信事業者に強く要望していきます。



8 番  
伊藤 厳悟議員

## 旧下呂館解体について

### ◆総務部長

旧ホテル下呂館の解体費用は、工事費が1億4千40万円、監理業務が156万6千円、合計で1億4千196万6千円です。

### ◆経営管理部長

旧ホテル下呂館、旧下呂温泉病院の跡地利用は、これまで長年にわたり検討・研究してきたものを基に、実施に向けた計画づくりを、国の「地域再生戦略交付金」を活用し、来年1月を目途に策定します。これらの市有地を活用し、観光・物産等の情報発信の拠点として下呂市全体のプラットフォームとなる機能を持った新たな産業振興の拠点づくりと、下呂市全域の活性化、雇用の創出を積極的に進めるための仕組みづくりなど、ハード・ソフトの両面から検討していきます。

①執行部の総括  
新庁舎整備計画の否決を受けて

### ◆市長

結論を急がざるを得なかったのは、財政問題で合併特例債の期間がきれる30年度までには方向性を出さなければならなかったからです。説明が不十分で市民の皆さん、議会の皆さんにご理解いただけなかったことは不徳であったと思っています。しかしこれで問題が解決した訳ではなく、老朽化し耐震性のない庁舎・振興事務所問題を解決していくのが、私と議会の責任であろうと思っています。

②今後の基本方針と計画について  
・振興事務所の今後のあり方について

### ◆総務部長

現在振興事務所で行っている一部の業務を本課へ集約するため、その分、現在の各振興事務所の職員数よりも減少します。ただし、非常時における防災体制については、圏域が広い下呂市の実情に鑑み、各振興事務所を核とした地域支部体制を維持する仕組みづくりを進めます。

・農林、土木部門の下呂総合庁舎への移転について

### ◆総務部長

萩原庁舎と星雲会館の機能統合を計画しており、スペース的にも限界があるため、県行政との繋がりが深い農林部と建設部を下呂総合庁舎へ移転する計画です。



1 番  
田中副武議員  
(公明党)

**認知症対策について**

政府は、新しい認知症施策推進統合戦略「新オレンジプラン」をまとめた。

①認知症初期集中支援チームを平成30年度までに全市町村に配置するとしている。下呂市の増加率を見ると、早急に体制を整える必要があると感じるが

◆福祉部長

第6期介護保険事業計画は、①普及・啓発活動の推進②認知症支援サービスの充実を図るものです。平成30年4月実施を目前に、下呂市において唯一の認知症サポーター医を擁するせせらぎ病院の協力のもと、準備を始めました。設置については、前倒しも視野に入れながら取り組む予定です。②七つの柱の中に若年性認知症施策の強化が示されている。下呂市の現状について伺う。

◆福祉部長

若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症の総称です。地域包括支援センターでの相談活動により、早期発見、早期治療へとつ

なげていくとともに、認知症対策支援の充実を図っていきます。

**空き家対策推進特別措置法について**

全国的に問題となっている空き家に対して、情報収集や、撤去・指導・勧告などができる権限を自治体に付与した特措法。

①防災面からも、倒壊の危険がある家屋に対して、早急な対応の必要性を感じますが、考えを伺う。

◆建設部長

地域のみなさまからの情報も頂きながら、また特措法を有効に活用して、安全管理対策など適正な管理を講じていただくよう助言・指導を行っていきます。

②地方創生の人口減少対策で空き店舗・空き家にも家賃の補助を実施されています。タータンや新規就農者支援等定住化を促進できると考えられます。空き家の活用についての考えを伺う。

◆経営管理部長

現在、空き家の調査を実施しており、利用可能な空き家について、課題等を整理しながら、有効利用に繋げていきたいと考えています。



14 番  
中野憲太郎議員

**インバウンド最前線「台湾から観光客を呼び込め」**

①下呂温泉の宿泊者状況（外国人宿泊者数の比率）

◆観光商工部長

外国人観光客の動向は、平成25年度の29,379人が、平成26年度には41,159人となり、11,790人、率にして40%の伸びを示しています。

②日本各地でインバウンドがヒートアップする中で、他の観光地に競り勝っていく考えは

◆観光商工部長

下呂温泉では、宿泊客の5%を目標としています。日本人のリピーターのお客様を大切にし、日本人の新たな顧客を開拓しながら、リピーターも多い台湾のお客様を大切にし、インバウンドも進めていくという、バランスのとれた誘客に努めたいと考えています。

③総合力（民と官）の連携が問われている

◆観光商工部長

飛騨地域三市一村、岐阜・下呂・郡上及び下呂・中津川の協議会

等の広域連携や岐阜県、中部運輸局などと連携しながら、より効果的な内容を実施していきます。

④JR東海高山線ワイドビューの増発、国道41号の整備状況

◆観光商工部長

JRに対しては期成同盟会等を通じての要望活動も、実現には結び付いていませんが、引き続き要望を重ねていきます。

◆建設部長

濃飛横断自動車道のインターから国道257号に接続する8.3km区間を最重要区間と位置付け、引き続き国に対し官民一体となって強く要望していきます。

**庁舎・振興事務所整備の基本方針について**

「最小限の経費で耐震化を確保する」という基本方針が示されたが、整備の在り方について

◆総務部長

整備工事に当たっては、現状の建物のコンクリート強度等を調査した上で、効果的な耐震補強と庁舎機能が維持できる必要な整備を図ります。平成31年度以降は、合併特例債という有利な財源が見込まれないことから、将来大規模な改修が予想されることを考慮し、現段階から可能な範囲で基金を積み立てます。



2 番  
今井政良議員

**農業（畜産）、林業の将来に向けた方向性について**

◆ 農林部長  
① 支援策を含む市の方向性は

新規就農者には、45歳までという年齢制限はありますが、国の新規就農給付金制度による支援策があります。また、農業研修者への支援として研修中の住宅や、農業指導士を講師とする研修施設の整備を、今年度中に整えます。畜産については研修や雇用の場の仲介を通じて新規就農者の誘導に努め、粘り強く課題を解決していきます。林業については「伐って使う」を促進するため、昨年度から地域材を一定量以上使用した木造住宅の新築に加えて、住宅や店舗の増改築に対しても費用の一部を助成する制度を、今年度は採択要件を緩和して実施しています。

◆ 農林部長  
② 後継者育成について  
今後「下呂」というネームバリューを前面に押し出して、移住者を含む新規就農者の誘導を、県

やJAなどと連携して進めます。林業は農業以上に厳しい状況にあります。益田清風高校へ林業関係の職場へのインターンシップや県立森林文化アカデミーなど、林業関係の専門学校や大学の情報提供もしたいと考えています。

◆ 農林部長  
③ 6次産業化への取り組みについて

6次化に関する相談には、あくまでも本業をメインとして、確実な計画と確固たる本人の意思を見極めながら、相談に応じます。

**少子高齢化に向けた支援策について**

◆ 福祉部長  
市の取り組みは

「下呂市子ども子育て支援事業計画」、「下呂市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」が平成27年度からスタートしました。それらの計画をベースにしながら各種施策に取り組んでいきます。



**誰もが必要な介護サービスを受けられるように**



11 番  
吾郷孝枝議員  
(日本共産党)

◆ 福祉部長  
① 介護事業の安定的な継続性は市民の老後の安心を築く要です。民間任せの介護施設整備を見直し、下呂市の10年、15年先を見越した介護長期ビジョンを持つ必要があるのでは

◆ 福祉部長  
介護保険事業については、民間の経営的ノウハウを生かし事業を運営することで介護サービスの安定的な提供につながっていくと考えています。今年度からの第6期介護保険事業計画は、中長期的なサービス給付を視野に入れた計画しています。

◆ 福祉部長  
② 今回の介護報酬削減は、施設経営や居宅介護サービス事業の経営を圧迫し、介護サービス事業の安定性や継続性を脅かしています。当局は介護の現状をどのように認識されているのか。

◆ 福祉部長  
介護報酬の改定により、利用料や保険料の負担は軽くなる半面、事業者の収入は減ります。事業継

続が行えるよう情報提供、事業者と連携を取っていききたいと考えています。

◆ 福祉部長  
③ 介護事業所の担い手不足は深刻です。地元での介護実習支援や返済不要の奨学金制度を早急に設ける必要があるのでは

◆ 福祉部長  
介護福祉士の取得をめざし進学する者への奨学金制度を創設し、市内の事業所に勤務すれば返済を減免するといった方法なども今後検討をしていきます。

◆ 福祉部長  
④ 中山間地域での訪問介護は、効率の悪さなどから経営的にも困難があります。市独自の支援が必要では

◆ 福祉部長  
市の独自の支援制度による上乗せについては十分な検討が必要では

**保育料の軽減見直しはされるのか。**

◆ 市長  
第2子の保育料を全員半額にする保育料見直しは、何時されるのか。

◆ 市長  
第2子の保育料について検討はしていますが、いつ結論を出すとは明言できません。



16 番  
二村勝己議員

**地域づくりと学校教育について**

①少子高齢化、人口減少が進む中、地域が元気になるためには、地域で生まれ育った子ども達が進学等しても地域に帰り、地域を守り大切にするという人づくり教育こそが、肝要であると考えるがその取り組みは

**◆教育長**

市内の小中学校では、その校区に関わった特色あるふるさと教育を実践しています。また、地域行事に参加することによって、子どもたちの心根に「ふるさと」の「ふるさと」が定着していくのではと考えます。

②馬瀬中学校統廃合は地域の衰退につながるか。また住民合意は

**◆教育長**

保護者のみなさんは、馬瀬中学校の在り方について論議を積み重ねられ、地域の皆さんへも「より多くの子どもたちと一緒に学校生活をさせたい」という思いや願いを述べられました。「地域の衰退」については、保護者の皆さんも考えられたうえで苦渋の決断をされ

ました。今後、統合校をどこにするか、どのように統合するかを含め、地域の方へ丁寧な説明をしていきます。

③強力な婚活推進による人口増加策は

**◆福祉部長**

結婚相談・出会いの場の情報提供など、関係者の協力を得ながら包括的な支援体制づくりを進めていきます。

**安心安全な地域防災について**

各地で様々な自然災害が発生しています。下呂市でも近年、大雨による災害が発生しており、今後とも危惧されます。自分の住む地域の河川や裏山等を地域住民皆で点検し、有事の際の対応を迅速に進めるための気運を強力に進めるべきではないか。

**◆総務部長**

市では、毎月28日の下呂市防災点検の日を中心に、ホームページやメール配信サービスなど活用し啓発活動に取り組んでいます。大切なことは、市民の皆様それぞれがいかに危機意識を持ち、自主的に取り組めるかどうかです。防災訓練等を通し、具体的な事例を紹介しながら更なる啓発に努めます。



10 番  
服部秀洋議員

**身だしなみを整え、いきいきと**

高齢化率が高まる一方で、その施策は益々本人負担増になっていくのが現状だ。心身ともに健康で過ごして頂けるような取り組み、例えば身だしなみを整える事も、生活に張りも出て、生きがいややる気を創出し、認知症予防につながると思われる。今後、市として高齢者に対する助成の方策を伺う。

**◆福祉部長**

身だしなみを整えることが認知症予防につながるとともに、閉じこもりを防止高齢者の外出意欲を高めるうえで効果があると思います。訪問理美容サービスについては在宅介護者等のご意見、地域の理美容団体のご意見を聴きながら検討していく必要があると考えます。また、高齢者の方が地域社会で活躍、貢献できるような生きがいづくりの支援も大切です。

**中学生海外派遣事業の成果は**

下呂市が交流を重ねてきた米国のケチカン市、ペンサコーラ市と

もに10周年を迎えた。1987年より旧金山町がケチカン市との交流開始、1989年から旧萩原町がペンサコーラ市と交流を開始、派遣・訪問団として参加した人数は現在までに1,800名に及んでいる。その実績と今後の方向性について伺う。

**◆教育長**

ホームステイで言葉が分からなくても人と人の思いやりや優しさを感じて友達や家族、あるいは相互交流などで生かそうとする生徒や、英語圏の生活や文化をさらに学ぼうとする生徒など、期間は短いものの中身の濃い研修ができたと考えています。今年は両市との友好都市提携10周年記念の年で、7月にそれぞれの式典に市の代表や交流協会の方々と出席をし、2つの友好都市との価値ある交流を継続することを確認していきます。



琴の体験をするケチカン訪問団 (下原公民館)

## 議会報編集 特別委員会

定数 5名

委員長	吾郷 孝枝
副委員長	山川 博己
委員	今井 政嘉
委員	各務 吉則
委員	中島 新吾

### 主な活動計画

議会報が市民と議会を結び架け橋となるよう、開かれた議会をめざして編集に努めます。

年4回開催される定例会ごと「下呂市議会だより」を発行。



議会報編集特別委員会の様子

### 9月定例会会期日程

9月定例会の会期日程をお知らせします。なお一般質問などの内容は新聞折り込みでお知らせします。

9月	3日(木) 10時～	本会議(初日) 提案説明など
	15日(火) 10時～	本会議(一般質問)
	16日(水) 10時～	本会議(一般質問)
	17日(木) 9時30分～	総務教育民生常任委員会
	18日(金) 9時30分～	産業経済常任委員会
	24日(木) 9時30分～	予算特別委員会
	25日(金) 9時30分～	決算特別委員会
10月	1日(木) 10時～	本会議(最終日) 委員長報告及び採決

※日程は変更になる場合があります。

### 開かれた議会をめざして

下呂市議会では、次のような取り組みを行っています。

- ①本会議における傍聴(委員会は、委員長の許可により傍聴できます)
- ②定例会のお知らせチラシの配布(新聞折込)
- ③一般質問のケーブルテレビ生放送録画放送(ケーブルテレビ加入者のみ)
- ④一般質問録画DVDの貸し出し
- ⑤本会議議事録の閲覧(ホームページに掲載)
- ⑥下呂市ホームページに市議会情報を掲載(下呂市ホームページ↓議会)
- ⑦各議員の議案に対する賛否を明記

今後市民の皆様には様々な方法でお伝えし、開かれた議会をめざします。議会へのご意見等ございましたら、議会事務局までお知らせ下さい。

◆下呂市議会事務局 電話 24-22222 FAX 25-28333  
e-mail gikai-02@city.gero.lg.jp

### 編集後記

今年度から、定例会会期日程が大幅に延長され、これに伴い議会だよりの発行も大幅に遅れることとなりました。これまで6月定例会の議会だよりは8月1日発行でしたが、日程の都合上、3ヶ月遅れの9月1日発行となりました。9月定例会も12月1日発行となる予定です。委員会としても紙面の工夫や編集日程の短縮などに努め、その次からの議会だよりは、2ヶ月後には発行できるよう、委員一同、最大限の努力をしていきます。

議会報編集委員長 T. A

